



2023年10月26日

各 位

会 社 名 株式会社 J ス ト リ ー ム
本社所在地 東京都港区芝二丁目5番6号
代表者氏名 代表取締役社長 石松俊雄
(コード番号: 4308 東証グロース)
問い合わせ先 執行役員管理本部長 竹見嘉洋
電話 03-5765-7744

2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年4月27日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正することを、本日開催の取締役会において決議しましたのでお知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、変更いたしません。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり連結 当期純利益 (円)
前回予想 (A)	13,320	1,665	1,675	1,040	41.83
今回修正予想 (B)	11,480	516	536	219	8.81
増減額 (B-A)	△1,840	△1,149	△1,139	△821	
増減率 (%)	△13.8	△69.0	△68.0	△78.9	
(ご参考) 前期実績	12,501	1,663	1,652	873	35.11

(2) 業績予想修正の理由

メディア企業を主力顧客とするOTT領域においては、新型コロナウイルス感染症環境下で根付いた視聴習慣の変化を捉えたネット配信を拡大する大きな流れが継続しており、オンライン動画視聴に関するシステム開発やウェブサイト運用に関するニーズは旺盛です。この領域の売上は想定通り着実に成長しております。

しかしながら、EVC領域(医薬)において、新薬開発・承認の遅延、薬価改定に伴う価格下げ圧力や、円安傾向の継続に伴う世界における日本市場の優先順位の低下といった要因が、製薬会社の販売促進予算の絞り込みにつながりました。当社が主力としているWeb講演会ライブの回数を控える企業が増加し、主に連結子会社の事業領域となっている販促用コンテンツ制作需要も減退したことから、計画を大きく下回る推移となっております。

また、EVC領域(医薬以外)においては、新型コロナウイルス感染症の5類指定以降、各事業会社がリアルイベントを重視する傾向が続いており、スポットでの販売促進/情報提供のためのネットイベントやセミナー案件が大きく減少しました結果、計画を下回る推移となっております。

利益面におきましては、売上減に伴う利益率低下に加え、前述の売上動向を反映し、比較的利益率の高いライブ配信案件や、医薬業界向けコンテンツ制作に係る売上の減少比率が高いことが、利益率への影響が大きい要因となっております。なお、販管費につきましては、第2四半期末時点において、計画及び前年同期対比、抑制された水準となっております。

しかしながら、全体としては売上減に伴い、売上総利益の減少幅が大きくなっていることから、売上及び各利益の業績予想値についての修正を行うものです。当社グループとしましては、優先順位を厳密にした設備投資の絞り込み、採用計画の抑制のほか、子会社オフィス移転による経費節減、他各種のコスト削減策に注力する一方、提供価値を高めるサービス開発は推進し、業績拡大に取り組んでまいります。

なお、各市場における予想や施策などの詳細につきましては、2023年10月27日開示予定の第2四半期決算説明会資料をご参照ください。

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、さまざまな不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

以上